

親の会 だより

第99号

発行日：R2.2.18

発行

岩手県ことばを育む親の会

会長：主濱 友子

事務局

盛岡市立桜城小学校

きこえとことばの教室内

《県親の会 ブロック研修会》

今年度も県内八つのブロックで、研修会が開催されました。講演会や学習会、交流会、親子レク等が行われました。各支部の特徴を生かして支部の活性化や意識の向上につながる研修会となりました。

各ブロックの研修の様子についてお知らせします。

盛岡 A (盛岡・滝沢・雫石・矢巾・紫波)

活動日：十月五日(土)／場所：雫石町公民館

内容：講演、支部交流

参加人数：親十六人、先生九人

○講演では、「子どもの育ちと親の会」の演題で、教室や支部親の会の歴史を知り、親の会の原点、今求められている教育や保育について知ることができた。支部交流では、各支部の広報作成、賛助会員の会費、親の会の役員決めについて話題になった。

盛岡 B (岩手・葛巻・八幡平)

活動日：十一月九日(土)／場所：岩手町プラザあい

内容：支部交流

参加人数：親九人 先生七人

○中学校にことばの教室がほしいという意見や、親にとって悩みを話せる人が必要、SNSを利用して悩みや様子を言い合える自由なサイトがあったらしいなどの話題もあった。

県南ブロック A (花巻・北上・西和賀)

活動日：十一月十日(日)／場所：北上市立和賀東小学校

内容：親子運動 親(交流会) 子(工作)

参加人数：親三十人 先生十九人 子三十三人

○交流会では、五つのグループに分かれて、先生にリードしていただき、会員の日々の悩みや考えていることを自由に語り合った。多くの教室(十三教室)からの参加者が交流を深める機会となった。

県南ブロック B (奥州・金ヶ崎・一関)

活動日：九月二十八日(土)／場所：平泉町立長島小学校

内容：親子ワークシヨップ「新聞紙を使った楽しい親子遊び」

親(講演) 子(レクリエーション)

参加人数：親二十六人 先生二十人 子三十人

○紫波矢巾大会で聞いた講演がよかったので、その講師を招いて、親子の活動と講演を行った。「子育て・孫育て・自分育ち」今こそ伝えよう日本人の心」の演題で、子どもとの会話のヒントをたくさん聞くことができた。

沿岸ブロック A (宮古・山田・田野畑・岩泉)

活動日：十二月七日(土)／場所：宮古市総合福祉センター

内容：親子ふれあい、会食

参加人数：親二十人 校長先生四人 先生四人 子三十人

○親子ふれあいタイムでは、旧会員を講師に、親子でふれあえる体をつかった遊びを行った。これまで支部間の交流がなかったが、一緒に活動することができた。校長先生にも参加していただき、有意義な交流となった。令和四年度の合宿研に向けたつながりの第一歩となった。



沿岸ブロックB (遠野・釜石・大槌・気仙)

活動日…九月一日(日)／場所…伝承園、カッパ淵、土淵地区センター
 内容…親子制作活動、見学、親(懇談) 子(昔話、散策)
 参加人数…親二十四人 先生十五人 子三十一人

○懇談会は、三つのグループに分かれて行った。ことばの教室は、人としての成長を感じる場だ。先生方が指導しているの苦労話や嬉しかった話をしてくださり、親と先生との両輪のバランスがよくなることの大切さを感じる懇談会だった。

県北ブロックA (久慈・洋野)

活動日…十二月七日(日)／場所…久慈市立久慈小学校
 内容…親子 制作活動(折り紙、はり絵) カレー作り
 親(学習会) 子(ゲーム)
 参加人数…親十八人 先生九人 子二十人

○県親の会副会長兼久慈支部の岡崎会長より、久慈支部親の会の沿革と歩みについて聞いた。初めて知ったことがあり、皆さんの苦労があつて教室ができたことがわかったという感想が寄せられた。



県北ブロックB (二戸・一戸・軽米・九戸)

活動日…七月二十一日(日)／場所…岩手県北青少年の家
 内容…親(講演会) 子(レクリエーション) 親子制作(キーホルダー)
 参加人数…親十九人 先生八人 子二十六人

○講演は、「おや?おや?親子、いろいろあつていいんです。ペアレント・トレーニングから学ぼう、子育てのよりよいかかわり方」のテーマで、子育てや子どものかかわり方について、他のお母さんの経験を聞くことができる参加型で行った。
 来年度のサマーキャンプの見通しと課題をつかむことができた。

《吃音がある子と保護者の交流会(すっぴんの会)》

一月二十五日(土)にアイーナで「第十八回 すっぴんの会」が開催されました。県内各地のことばの教室や幼児教室から十七組の親子、先生方、ことばの教室で学んだ先輩、先輩のお母さん、ボランティア等合わせて七十人が集まりました。

子ども達は、幼児と小学生に分かれてレクリエーションをしました。グループで活動したり、風船リレーなどで他のグループと競い合ったり、協力しあつたりする中で、はじめは緊張気味だった子ども達にも笑顔がみられ、夢中になつて楽しんでる様子が見られました。

保護者は、全体交流では、二人の先輩と先輩のお母さんから、日頃悩んでいることや中学校や高校の頃のことについて聞きました。グループ交流では、子どもの年齢が近いグループに分かれて語り合いました。悩みや思いを共有したり、子どもが安心できる関わり方、見方や考え方を先輩のお母さんやことばの教室の先生から聞いたりすることができました。

「年一回の親子での参加をとっても楽しみにしております。同じ吃音のある子ども達の集まりはとても貴重だと感じています。」「先輩が参加してくださつて、貴重なお話を聞くことができ、とてもありがたいことだと思ひます。子どもの成長段階によって悩みも変わつてくるので、同学年の親達と話せるのも良い機会でした。」等の感想がありました。

この会が、吃音のよりよい理解と子ども達の将来につながることを願つて、また来年も開催する予定です。



県親の会からのインフォメーション

○十二月十四日(土)に下橋中学校で、「やまびこ会(きこえの教室で学んだ先輩の会)」が開催されました。県内のきこえの教室の児童・生徒・保護者、先生方、合わせて二十名が参加しました。会員の中島さんが、オムレツとコンソメスープの作り方を教えてくれました。調理や会食を通して、交流を深めることができました。